

「ごてんばの富士山豆博士事業の概要」

富士山及び富士山麓の豊かな自然に触れ親しむことで、新しい発見をし、一人ひとりが「ごてんばの富士山豆博士」になることを目的とした事業です。各学校の特徴や地域性を生かして取り組むことにより、児童・生徒が身近な富士山の素晴らしさを再認識します。

平成18年度から21年度までの間に市内の小・中学校全16校において実施しましたが、更に多くの富士山豆博士誕生を目指し、今年度から平成25年度までの4年を第2期として事業を継続実施しました。



▲平成22年度富士山豆博士認定証授与式

～富士山について学習しました～ ごてんばの富士山豆博士誕生！！



▲御殿場市と雄大な富士山（航空撮影）

平成18年度から富士山基金の一部を活用した「ごてんばの富士山豆博士事業」を実施しています。

平成22年度は1,024人の豆博士が誕生し、これまでに3,701人が豆博士になりました。

ここでは今年度実施した神山小学校、高根小学校、御殿場中学校、南中学校の4校の取り組みを紹介し

環境課 ☎(83)1603

◆ 神山小学校 ◆



▲6年生の富士山新聞の発表

2年生から6年生までの605人が、富士山豆博士を目指して活動しました。

【2年生…富士山に関する見学】生活科の授業と関連させて駒門風穴を訪れ、大きな風穴に驚き、その偉大さに強い興味を持ちました。

【3年生…富士山に関する発表】駒門風穴の模型や新聞を作成・発表し、富士山にまつわる豆知識をたくさん身につけました。

【4年生…富士山を学習】富士山についてテーマを決めて調べ、美しい富士山を守っていくのは自分たちであると再確認しました。

【5年生…富士山の恵みを体験】湧水など富士山についてさまざまな視点から調べ、実際に沼田と二子の湧水を訪れました。また、家庭科の実習で湧水を使って「ごてんばこしひかり」を炊飯し、おいしいお米をみんなで味わいました。

【6年生…富士山に関する発表と交流】7月28日の富士登山前に富士山について調べたことを発表し合い、富士の裾野に住む御殿場市民であることに喜びを感じました。それをもとに「富士山新聞」を作成して、修学旅行先の日光で配布し、受けとってくださった人から返事が届くなど、富士山を通して人との触れ合いの温かさを感じることができました。

◆ 高根小学校 ◆

6年生45人が、身近にある富士山をより深く知るために活動しました。

【富士登山】「つらくても 心は一つ 富士登山」をスローガンとして、富士登山実行委員が中心となり、登山のルールや登山に必要なものを考え、7月28日に富士宮口新五合目から登りました。宝永火口で休憩時に「富士豆博士の会」と題し、富士山に関するクイズを出題するなど富士山学習を行い、楽しみながら登りました。

【運動会での組体操】運動会で行う組体操のテーマを「富士山」とし、宝永火口、かさ雲など富士山の自然や動物の技を計18個考え出し、体で表現しました。ストーリー性もつけて演じるなど富士山の美しさや素晴らしさを見ている人に伝えることができ、盛大な拍手をもらいました。

【新聞づくり】富士山学習のまとめとして、テーマを自分で考え、本やインターネットを活用して調べ学習を行いました。「自然」、「生息する動物」、「植物」、「富士山のつくり」、「歴史」などが多く、子どもたちは意欲的に調べ、これを通して富士山についての知識・理解を深めました。



▲宝永火口で富士山に関するクイズを出題

◆ 御殿場中学校 ◆



▲フィールドワークでの講師の説明

1年生214人が、「発信しようぼくらの富士山」をテーマとして富士山に関わる文化について学びました。

【フィールドワーク】富士山に関わる6つのテーマから興味のあるものを選択し、山梨県立富士ビジターセンターや歴史館などを訪れ、学習を進めました。

【富士山講演会】11月5日に御殿場地域振興センター鎌野茂所長を講師に迎え、「東海道線の開通と御殿場駅の繁栄」、また裾野市富士山資料館の塩川敢さんを講師に迎え、「富士山の地質と周辺の産業」についてそれぞれお話していただきました。

【学習発表会】フィールドワークで学んだことを新聞にまとめ、発表・展示しました。多くの保護者に参観していただき、好評でした。

【富士山マップ作成】富士山周辺の魅力が分かるような事柄（文化・産業・地質・水・歴史・樹海・生き物など）を一枚の地図にまとめ、富士山マップを作成しました。

【富士山フォトコンテスト】富士山の魅力を伝えるため、自分の好きな場所から富士山を撮影し、英文で紹介文を書きました。

◆ 南中学校 ◆

1年生160人が「富士山を世界文化遺産に～富士山を知ろう、撮ろう、表現しよう～」をテーマに活動しました。

【世界遺産ってどんなもの?】富士山を世界文化遺産に登録しようとしている県文化・観光部世界遺産推進課の講座を受講しました。文化創造と関わりが深いことから、現在富士山を文化遺産として登録しようとしていることを知りました。

【富士山写真コンクール】せいの写真スタジオに写真撮影の指導を受けて、夏休みと冬休みの課題として、富士山の写真を撮りました。撮影時間、工夫した点などを明記して掲示しました。美しい富士山の新たな一面を見つけることができました。

【富士山の成り立ち】裾野市立富士山資料館に行き、実際に噴火した痕跡や富士山の内部構造を知ることができました。

【富士山を詠もう】これまでの活動で学んだことや感じたことを俳句、短歌、三行詩にして詠み、富士山写真コンクールで撮影した写真に記入しました。富士山を詠むことで、国語の学習で学んだ文化人の気持ちに近づくことができました。



▲裾野市立富士山資料館での学習